



すべての働く者の連帯で ともに働き暮らす社会をつくろう

湘南地域連合議長 佐藤 一夫



新年、あけましておめでとうございます。新しい年のお正月を元気に迎えられることを皆さんとともに、お喜び申し上げます。また、昨年中は湘南地域連合の諸活動に対しましてご支援、ご協力をいただきまして心から御礼を申し上げます。

去年は、我々がかつて一度も経験したことのない、極めて厳しい経済環境・企業環境の中で、地域連合活動を展開してまいりました。また、その閉塞した環境を少しでも良くしてもらいたいといった想いで政治や政策制度活動に積極的に行動を起こした年でもありました。働く者一人一人の一票に込められた「この国を良くしたい」といった思いは8月31日の衆議院議員選挙において、民主党の大躍進につながり政権交代を果たしました。あらためて感謝を申し上げます。われわれ労働組合・連合は政権与党の最大支援団体として、緊張感をもった対応をしていかなければいけません。

さて、現在日本経済は、2008年度下期以降の世界同時不況により様相が急変、円高の進行や株価の急落等、景気の先行き不透明感が増す状況となりました。日本の雇用環境もこの10年間で雇用構造は大きくゆがみ、かつて社会システムを支えてきた1億総中流と呼ばれた厚い中間層は崩壊してしまいました。雇用構造の変化に対応する社会保障システムも見直されず、「貧困の世代間連鎖」が進みつつあります。そして、失業率が6%に迫り過去最悪の状況となる中で、かつて経験したことのない雇用危機、高失業率時代への懸念が高まっています。

湘南地域においても、例外ではなく、厳しい経済環境・企業の低操業が続いており、結果として組合員の雇用不安、生活に対する不安が増しています。私たちは、引き続き、厳しい環境の中でも地域連合として出来ることを考え、湘南労福協や行政、各級議員団と連携をとりながら、「生活者・勤労者の代

表・代弁者」として雇用の確保拡大、そして働く仲間の労働条件の維持向上、更には明るく安全な地域社会づくりに向けて活動を展開していきたいと考えています。具体的には政策制度要求活動、政治活動を重要な柱として各自自治体ごとに地域の生活者・勤労者の生の声を要求書に反映することや夏の参議院議員選挙において、連合組織内議員はもとより連合推薦議員全員の必勝を目指しながら要求の実現と政策制度の改善につなげる取り組みを推進したいと思います。

結びになります。今年一年が皆様にとりまして健康で実りある年になるよう祈念申し上げ本年も変わらぬご支援とご協力をお願い致しまして、年頭の挨拶に代えさせていただきます。

今年も皆さんと共に、精一杯頑張っ
て参りましょう。



第19回定期総会を開催



湘南地域連合は、12月10日(木) 藤沢市労働会館において、柏木連合神奈川事務局長、島津県政総合センター所長や服部茅ヶ崎市長など多くの来賓の方々や組織内議員を迎える中、第19回定期総会を開催した。

冒頭、挨拶に立った佐藤湘南地域連合議長は、「夏の総選挙において、悲願であった『政権交代』が実現した。地域連合として総力を挙げての取り組みが実を結んだ。これからは、政権与党に対して、生活者重視の社会・制度の確立が図られること求めていく」「元気に明るく、活力のある湘南地域の構築にむけ、格差是正、地域に暮らす勤労者の生活向上の実現に重点をおいた政策制度要求など、活動を展開していく」とし、さらなる活動の強化と参加を呼びかけた。

経過報告部分としては、活動報告、会計報告及び会計監査報告が行われた。

この中で大矢事務局長は、「今年度においても、毎月の連合神奈川の日・駅頭行動など、多くの構成組織に参加をいただき、地域における参加型の運動を展開することができた。また、政策制度要求を始めとした政策提言活動、湘南労福協との連帯による各種地域活動に精力的に取り組むとともに、地域で働く勤労者の要望実現にむけた運動を積極的に展開した」と報告。全体で確認された。第1号議案においては、

- ①地域産業の縮小・撤退の防止にむけた産業対策と雇用の確保・拡大
- ②障害者の雇用促進、失業者の再就職支援、フリーター・ニートと言われる

と言われる若年層の就労支援を含めた雇用対策

- ③未組織労働者の組織化に向けた働きかけ、加盟組織の強化・拡大
- ④勤労者・生活者の生活コスト改善と地域福祉の充実、生活支援
- ⑤メーデーや各種スポーツ大会、ボランティア活動への積極的な参加、組織の連帯強化
- ⑥組織内議員・推薦議員との連携による、まちづくりへの参画と働く者・生活者の目線にたった政治変革に向けた政治活動の推進・強化

の6点を基本とした活動方針を提起、確認された。また、第2号議案の予算(案)についても、その活動を支える財政計画が確認された。

第3号議案では、産別・単組事情により吉崎副議長、大矢事務局長、千田事務局補佐が勇退、新たに中村健太(副議長：電機連合日本電気硝子労組藤沢支部)、古郡亘幸(事務局長：自治労藤沢市職労)、中島和則(事務局長補佐：自治労寒川町職労)が信任され、新たな体制が確認された。

議長団を努めていただいた、石川代議員(JAM日本精工労組桐原支部)、石橋代議員(神教協湘南教組)にこの場を借りて感謝申し上げます。

総会宣言

今、世界も日本社会も大きな転換期を迎えている。

我々は、第45回衆議院選挙を全力で闘い、その結果、民主党を中心とする連立政権が誕生した。国民が自らの選択による「政権交代」を実現させ、新たな社会づくりが始動している。また、世界では恒久平和の実現に向けた核兵器廃絶への道筋づくりに動き出すなど、これまでの効率と競争最優先の価値観から、公正と連帯を重んじる価値観への転換が始まっている。

一方で、我々を取り巻く状況は未だ厳しさが続いている。経済情勢は一部に改善の兆しがあるものの、企業収益は大幅に減少している。失業率も過去最高水準となるなど、厳しい雇用状況から脱却できず、二極化や格差を解消できないままに、先行き不透明のなかで更なる生活防衛を迫られている。

また、労働組合の組織率は、全国で18.1%と低迷し、神奈川県においても20.8%と低下している状況にある。私たちは、非正規労働者も含めたすべての働く仲間の労働条件の改善と生活向上を進め、社会的役割を担うため、働く者が連帯する社会を築き、組織拡大に全力で取り組まなければならない。

我々のめざすところは、「安心・安定・安全」をより高め、真の「ゆとり・豊かさ」が実感できる社会の構築である。そのためには、構成組織全体で、湘南地域連合の活動方針に基づき、連合神奈川に結集し、多くの仲間と力を合わせて、運動を着実に進めなければならない。

我々は宣言する。

1. すべての働く者の力を結集し、労働運動の再生・活性化を図る。
2. 地域住民と連携する中で、すべての働く者が正当に報われる「労働を中心とした福祉型社会」の早期実現にむけ総力をあげる。
3. 民主党を中心とした政権の安定確立を図るため、来年7月実施予定の「第22回参議院選挙」を重要な闘いと位置づけ、すべての推薦候補者の必勝に向け、全力で取り組む。

我々は、本日の総会を契機として「すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう」を合い言葉に、湘南地域連合3万3千組合員が心をひとつにして行動することを、改めて誓う。

以上宣言する。

2009年12月10日

湘南地域連合第19回定期総会

湘南地域連合2010年度役員体制

議長	佐藤 一夫	事務局長	古郡 亘幸
議長代行	岩崎 幸司	事務局次長	山内 一仁
	高田 晴行	事務局長補佐	中島 和則
副議長	田代 満		樋口 剛
	吉田 正志		高田 大
	安部 慎也	会計監査	田中 健二
	大橋 秀幸		加邊 直樹
	國分 一哉		
	中村 健太		

